

2010年2月26日

関係各位

会社名:三井物産株式会社
代表者名:代表取締役社長 飯島彰己
(コード番号:8031)
本社所在地:東京都千代田区大手町
一丁目2番1号

チリ国の銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトに参画

三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:飯島彰己)は、パンパシフィック・カッパー株式会社(本社:東京都港区、社長:足立吉正、以下「PPC社」)の子会社ミネラル・ルミナ・カッパー・チリ社(本社:チリ国サンチャゴ、以下「MLCC社」)が100%権益を保有するチリ国カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト(以下「本プロジェクト」)に関して、当社が子会社を通じてPPC社から権益の25%を取得し、開発に参画するための協議をPPC社と進めて参りました。

本日、PPC社が開発への移行を正式に決定したことにより、当社は2010年4月を目処に権益取得及び開発に関する株主間協定書の合意を目指すことになりました。なお、本プロジェクトへの当社参画に関しては、PPC社による開発への移行正式決定を条件に当社取締役会の承認を取得済みです。権益取得費は1億3500万米ドルを見込んでおります。

MLCC社は、本プロジェクトの開発に必要な環境認可を既に取得しており、約4年間の建設期間後2013年から生産を開始し、28年間で銅約350万トン、モリブデン約8万7000トンの生産を見込んでいます。開発初期投資額は約20億米ドル程度となる見通しです。

本プロジェクトは、2006年5月にPPC社がMLCC社を通じて100%権益を取得、事業化調査を行ってきたもので、当社は参画に向けた協議をPPC社と昨年からは開始しました。同協議と並行して当社独自の経済性評価を実施した結果、十分な経済性が見込めるとの結論に達したものです。

当社は長期的視点に立った優良金属資源権益の獲得、拡大を重点分野と位置付け、銅事業に関してはこれまでチリ国のコジャワシ銅鉱山・ロスペランブレス銅鉱山にPPC社と共同参画しています。本事業参画を通じ、当社は銅事業ポートフォリオを拡充すると共に、引き続き内外の優良パートナーとのネットワークをさらに強化し、新規権益取得に取り組んで参ります。

添付資料:投資スキーム

PPC社概要

MLCC社概要

カセロネス銅鉱山事業概要

カセロネス銅鉱山位置

本件に関する問合せ先:三井物産(株)
IR部 TEL:03(3285)7910
広報部報道室 TEL:03(3285)6645

ご注意:

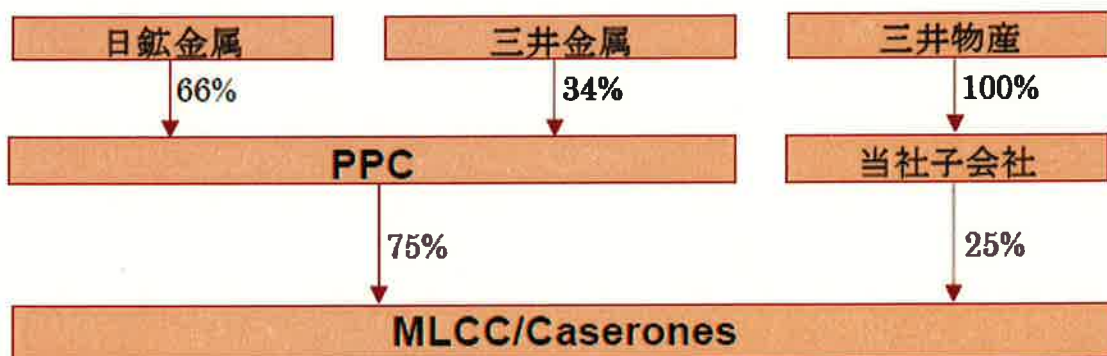
本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述はリスクや不確実性を内包するものであり、経営環境の変化などにより実際とは異なる可能性があることにご留意ください。また、本発表資料は、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

(添付資料)

【投資スキーム】

取得対象資産:MLCC社の25%株式

取得価額:1億3500万米ドル



PPC社概要

名称	パンパシフィック・カッパー株式会社
代表者	代表取締役社長足立吉正
本社所在地	東京都港区虎ノ門
資本の額	624億円(資本金318億円、資本準備金306億円)(2010年2月1日現在)
主な事業内容	金属鉱業、銅精鉱の購入、電気銅・硫酸・貴金属・他銅製錬副産物の製造・販売

MLCC社概要

名称	Minera Lumina Copper Chile S.A.
事業内容	カセロネス銅鉱山の開発・操業(銅鉱石・銅地金生産)
MLCC社株主構成	パンパシフィック・カッパー社 75% 当社設立予定の100%子会社 25%
所在地	チリ国サンチャゴ
設立	2003年

カセロネス銅鉱山事業概要

所在地	チリ第三州
建設期間	2010年～2013年
操業開始	SX-EW法による銅地金生産 2013年1月 銅精鉱・モリブデン精鉱生産 2013年9月
生産量(銅量)	-当初5年間平均:銅精鉱約15万トン/年、銅地金約3万トン/年、 モリブデン約3千トン/年 -山命(稼行期間)28年平均:銅精鉱約11万トン/年、 銅地金約1万トン/年、モリブデン約3千トン/年
開発投資額	約20億米ドル
山命(稼行期間)	28年間

カセロネス銅鉱山位置

